

令和 4年 5月26日
渡川ダム統合管理事務所

中筋川ダム・横瀬川ダム 放流警報説明会を開催します。

中筋川ダム・横瀬川ダムでは洪水期(6月16日～10月31日)を迎えるにあたり、関係機関の皆様を対象として、大雨が降った場合の中筋川ダム、横瀬川ダムからの通知や放流警報について理解いただくことを目的に「中筋川ダム・横瀬川ダム放流警報説明会」を開催します。

なお、今回の開催は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場とWEB会議システムの併用により開催します。

日 時：令和4年6月1日(水)13時30分から

場 所：渡川ダム統合管理事務所 1階 会議室
WEB会議システム併用

出席者：中筋川ダム・横瀬川ダム操作規則に規定する関係機関等

報道関係者の取材は可能です。取材を希望される場合は事前に下記の問い合わせ先に連絡をお願いします。

※本施策は、四国圏広域地方計画の広域プロジェクト【No.1 南海トラフ地震を始めとする大規模自然災害等への「支国」防災向上プロジェクト】に該当します。

(問い合わせ先)

国土交通省四国地方整備局渡川ダム統合管理事務所

電話：0880-66-2501

事務所長 福島 奨
○管理課長 渡辺 雄二

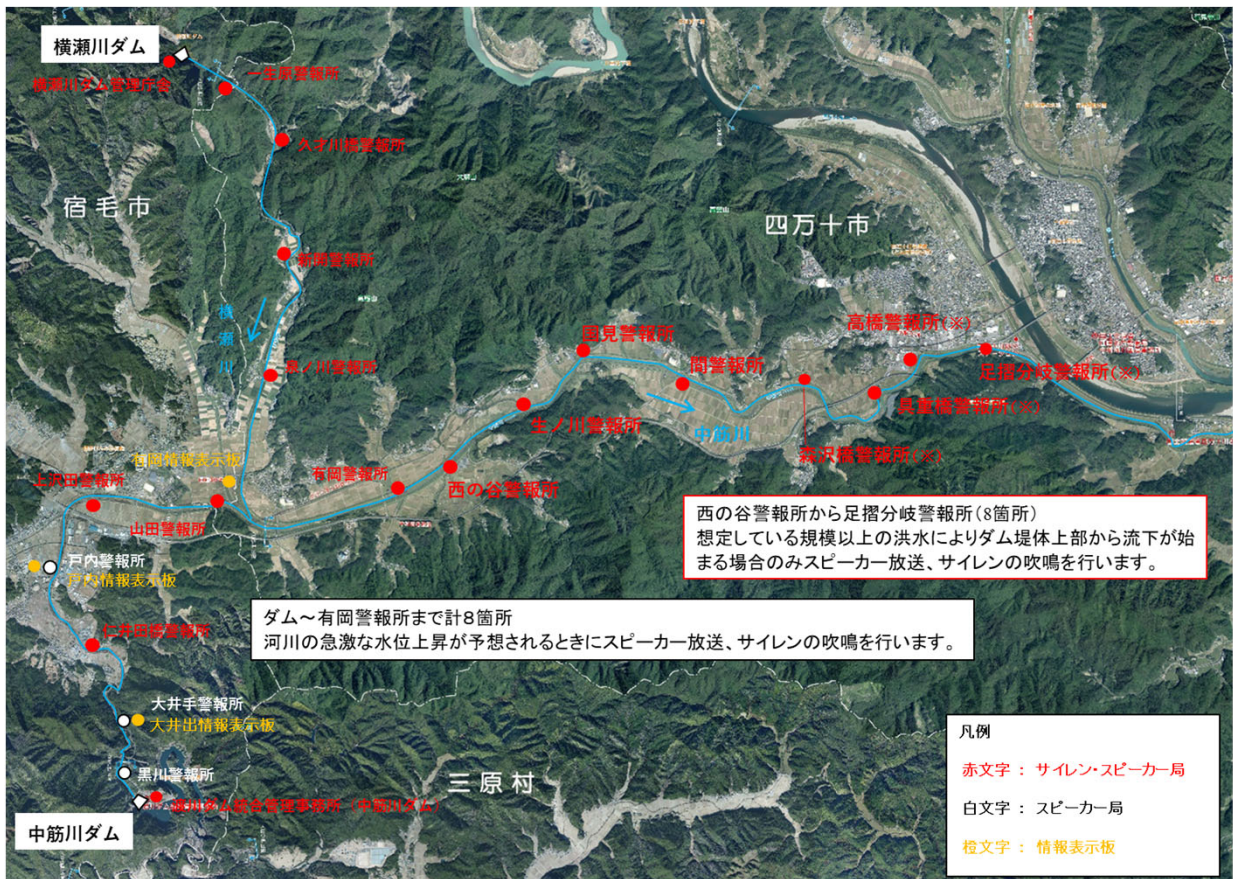
○主な問い合わせ先

中筋川ダム放流警報のお知らせ

中筋川ダムでは、ダムからの流下により川の水水位が急に上昇する恐れがある場合に、一般の方に危険を知らせ安全を確保していただくため、中筋川ダムから足摺分岐警報所までの間に設置している警報所から、スピーカー放送及びサイレンの吹鳴を行います。(※)

中筋川ダム放流警報のサイレンが鳴った時は、**危険**ですから川へは**立ち入らない**でください。

※西の谷警報所から足摺分岐警報所（8箇所）については、想定以上の洪水により、ダム堤体上部から流下が始まると予想される場合のみ、3時間前及び30分前を目処にスピーカー放送及び、サイレンの吹鳴による周知を行います。



※森沢橋警報所から足摺分岐警報所（4箇所）については、遠隔制御等の工事を令和4年度に行うため工事完了後からの運用になります。

1. 警報所から警報等を行うのは次の場合です。

- ①ダムへの流入量が洪水量（50m³/s）を超え、かつダム中央部にあ
る流下口から流下が始まると予想される30分前及び直前を目処。
（ダム地点のみ）
- ②ダムからの流下により下流河川で急激に（30分間に30cm以上）
水位が上昇すると予想される30分前。（ダム地点～有岡警報所）
流下口から流下が始まる直前を目処。（ダム地点）
- ③想定以上の洪水により、ダム堤体上部から流下が始まると予想さ
れる3時間前及び30分前。（ダム地点～足摺分岐警報所）
流下が始まる直前を目処。（ダム地点）

2. スピーカー放送の内容及びサイレンの鳴り方。

1) ①、② の場合

スピーカー放送内容

『こちらは、国土交通省中筋川ダムです。

中筋川ダムの上流域に雨が強く降り続けているため、ダムから流れ出る水の量が急激に増加します。
このため、川の水位が急激に上昇しますので厳重に警戒してください。』（2回繰り返し）

サイレンの鳴り方



2) ③ の場合

スピーカー放送内容

『国土交通省中筋川ダムです。

中筋川ダムの上流域に雨が強く降り続けているため、ダムから流れ出る水の量が急激に増加します。
これまでに経験のないような洪水です。ただちに命を守る行動をとってください。』（2回繰り返し）

サイレンの鳴り方



【問合せ先】 国土交通省 渡川ダム統合管理事務所 管理課 : 0880-66-2501

横瀬川ダム放流警報のお知らせ

横瀬川ダムでは、ダムからの流下により川の水位が急に上昇する恐れがある場合に、一般の方に危険を知らせ安全を確保していただくため、横瀬川ダムから足摺分岐警報所までの間に設置している警報所から、スピーカー放送及びサイレンの吹鳴を行います。(※)

横瀬川ダム放流警報のサイレンが鳴った時は、**危険**ですから川へは**立ち入らない**でください。

※有岡警報所から足摺分岐警報所（9箇所）については、想定以上の洪水により、ダム堤体上部から流下が始まると予想される場合のみ、3時間前及び30分前を目処にスピーカー放送及び、サイレンの吹鳴による周知を行います。



一生原警報所



久才川警報所



※新開橋警報所、泉ノ川橋警報所は遠隔制御工事を令和4年度に行うため、スピーカー放送は工事完了後からの運用になります。

1. 警報所から警報等を行うのは次の場合です。

- ①ダムへの流入量が洪水量（35m³/s）を超え、かつダム中央部に
ある放流口から流下が始まると予想される30分前及び直前を目処。
（ダム地点のみ）
- ②ダムからの流下により下流河川で急激に水位が上昇すると予想され
る30分前。（ダム地点～中筋川合流点）
流下口から流下が始まる直前を目処。（ダム地点）
- ③想定以上の洪水により、ダム堤体上部から越流が始まると予想され
る3時間前及び30分前。（ダム地点～足摺分岐警報所）
流下が始まる直前を目処。（ダム地点）

2. スピーカー放送の内容及びサイレンの鳴り方。

1) ①、② の場合

スピーカー放送内容

『こちらは、国土交通省横瀬川ダムです。

横瀬川ダムの上流域に雨が強く降り続けているため、ダムから流れ出る水の量が急激に増加します。
このため、川の水位が急激に上昇しますので厳重に警戒してください。』（2回繰り返し）

サイレンの鳴り方



2) ③ の場合

スピーカー放送内容

『国土交通省横瀬川ダムです。

横瀬川ダムの上流域に雨が強く降り続けているため、ダムから流れ出る水の量が急激に増加します。
これまでに経験のないような洪水です。ただちに命を守る行動をとってください。』（2回繰り返し）

サイレンの鳴り方



【問合せ先】 国土交通省 渡川ダム統合管理事務所 管理課 : 0880-66-2501

事前放流について

事前放流の目的

事前放流は、大雨などで洪水の発生が予測される場合、事前にダム
の水位を下げ、洪水時の水を貯めることのできる容量を一時的に
増加させるものです。

近年の豪雨災害を受け、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水
調節に最大限に活用できるよう、全国の一級水系河川で河川管理者、
ダム管理者、関係利水者で「治水協定」を締結し洪水被害軽減のた
め取り組みを強化しています。

※中筋川ダムの事前放流は、ダムの洪水期（6月16日～10月31日/件）の期間で実
施していましたが、渡川水系治水協定（令和2年）に基づき、年間を通じて実施するよう
実施要領を見直しました。

事前放流を実施する目安

中筋川ダム、横瀬川ダムでは下記のいずれかの状況が確認される
場合に事前放流の実施を検討します。

- 各ダムの上流域の予測降雨量が事前放流実施の目安として定めた
基準降雨量を超える予測となったとき。
- 台風の5日間の予測進路が四国地方に接近する予測となった場合。

予測に基づく事前放流の実施は3日～5日間程度です。

事前放流で確保する容量

中筋川ダム、横瀬川ダムの事前放流は、ダムの水位が通常時の満
水の高さまでであった場合、以下の容量を確保することを目標に行い
ます。

- 中筋川ダム 1, 130, 000m³
- 横瀬川ダム 90, 000m³

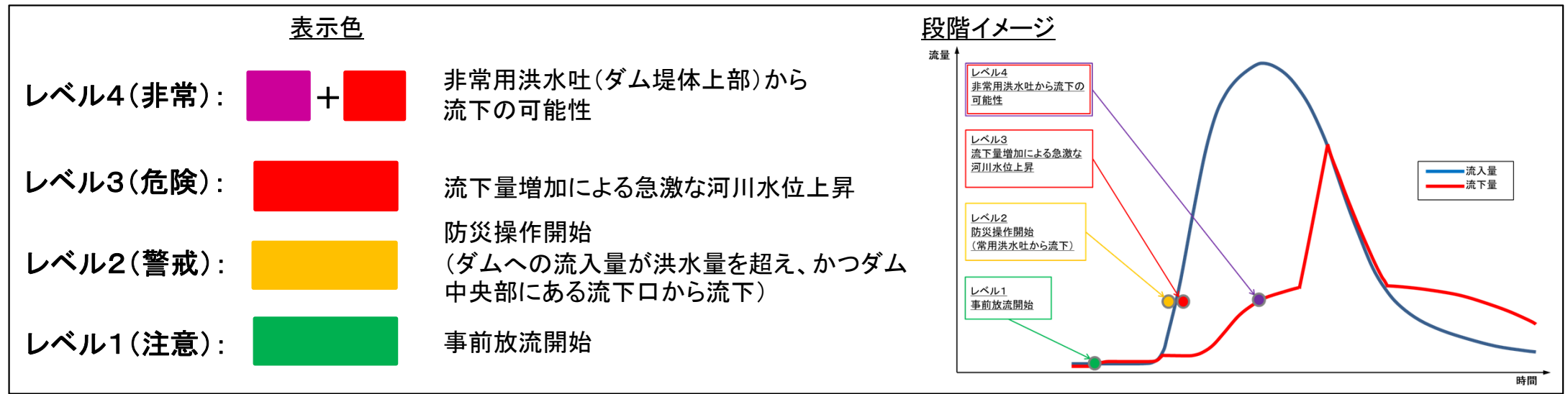
【問合せ先】

国土交通省 渡川ダム統合管理事務所 管理課
電話 0880-66-2501

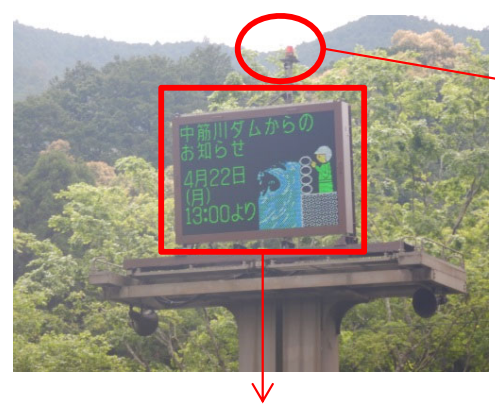
【放流警報所回転灯の色分けについて】

■洪水の危険性を視覚的に理解して頂くため、危険度レベルに応じて回転灯の色分けを行います。

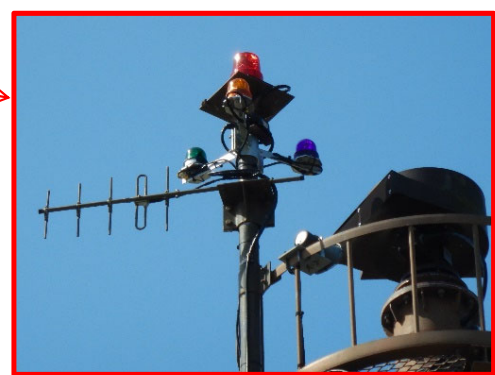
ダム情報等の危険度レベル



現地のイメージ



表示板のカラー表示



回転灯のカラー表示